

令和5年度全国学力・学習状況調査

各学校での分析と校内研修での活用について  
【質問紙調査編】

熊本県教育委員会

## 1 各学校での分析と取組

### (1) 分析の意義とポイント

### (2) 分析の流れ

- ① 質問項目の洗い出し
- ② 結果の可視化
- ③ 分析と取組

## 2 実践編「校内研修での活用」

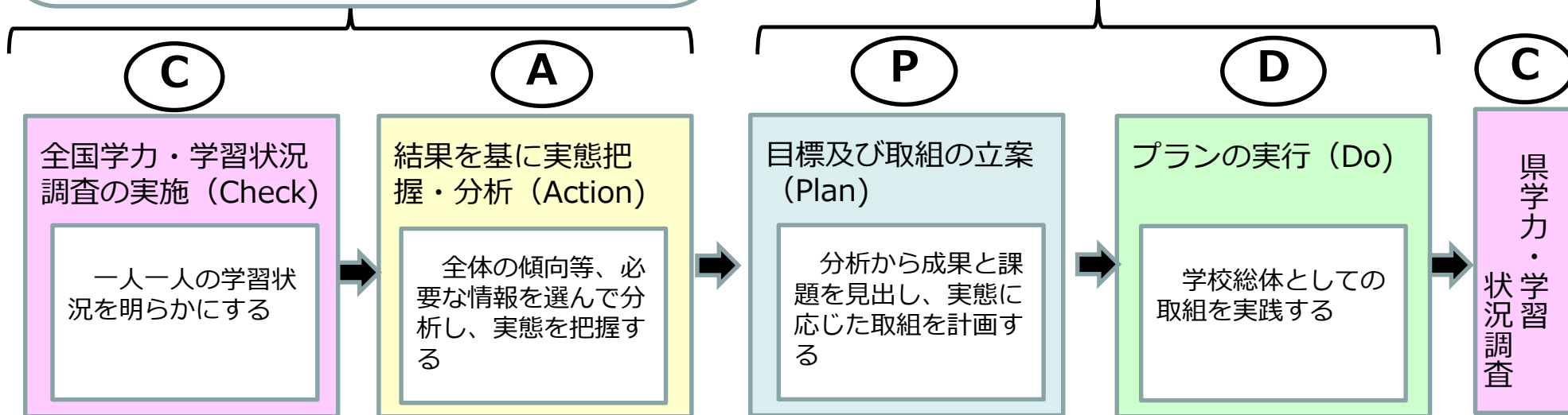
# 1 各学校での分析と取組

# 1 - (1) 分析の意義とポイント

## <分析の意義>

◇学力、学習状況調査の結果から、各学校の授業や学びの保障の取組状況が把握できます

◇調査結果を分析し、共有することで、課題解決に向けた授業改善が充実します



結果分析から、自校の「熊本の学び推進プラン」や「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関する取組の成果と課題を見付け、課題改善に向けた取組計画の立案と実践を行いましょう。

# 1 - (1) 分析の意義とポイント

## <分析のポイント>

◇各学校での分析と校内研修での活用について  
【教科に関する調査編】

◇各学校での分析と校内研修での活用について  
【質問紙調査編】

全国学力・学習状況調査の**解説資料**と**報告書**が分析と改善の拠り所となります。



調査終了後、速やかに学力や学習の状況、課題を把握し、学習指導の改善・充実等に取り組む際に参考となる資料



結果提供後、設問ごとの解答状況、成果や課題の有無、特徴的な解答の分析等、学習指導の改善・充実を図る際のポイントを示した資料

※ 質問紙においては、経年変化や学力とのクロス分析を掲載

※ 「解説資料」及び「報告書」は下記のURLよりダウンロードできます（R5よりデータにて提供）

「解説資料」 : <https://www.nier.go.jp/23chousa/23chousa.htm>

「報告書」 : <https://www.nier.go.jp/23chousakekkahoukoku>

### ◇各学校での質問紙調査の結果分析へ

#### 【分析の流れ】

- ① 質問項目を洗い出す
- ② ①について、表やグラフで可視化する
- ③ 結果を分析し、課題改善の取組を考える

※ 「本校の重点取組(活用)シート」と併せて活用する。

※P7参照

まずは、課題改善に向けた重点取組と各学校で使用する重点取組（活用）シートを確認しましょう！



## 課題の改善に向けた重点取組及び参考指標

目標：本県の子供たち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障する

【次の検証(R5県学調・R6全学調)へ向けて、学校総体で重点的に取り組むこと】

### 重点取組

#### ●児童生徒を「学びの主体」とするための指導の充実

##### ①授業における主体的な学びを促す学習活動の充実

- 単元全体を見通して、「自分で考える」「自分の考えを工夫して発表する」「自分の学びを振り返る」等の自ら取り組む機会を確実に設定すること。
- 授業において、児童生徒が自分の学びを自覚したり、実感できたりするよう、児童生徒の学びの成果を具体的に伝えること。

##### ②家庭学習における主体的な学びの充実

- 計画的に家庭学習に取り組むことができるよう、学習内容・方法について教師が具体例を挙げながら、児童生徒が自分で選択したり、判断したりして決めるなどの指導を丁寧に行うこと。
- 家庭学習においても、児童生徒が自分の学びを自覚したり、実感できたりするよう、児童生徒の学びの成果を具体的に伝えること。

➡児童生徒が学びを実感できる取組を通して、「学びの主体」に関する項目(参考指標等)の向上を図る

#### ●各教科における課題の克服と理解度の向上 【右枠参照】

##### ①課題である問題の確認とその克服

- (継続して)課題である問題の解答状況を把握し、課題が見られる場合は、その克服に向け、本課が提供する「授業改善のポイント」、「類似問題」等を参考に、その克服を図ること。

##### ②定着確認の徹底

- 各教科において、単元(授業)ごとに最低限習得すべき事項が身に付いているか確認すること。
- 児童生徒が分かる喜びを実感できるように、粘り強く指導すること。

➡児童生徒が分かる意識できる取組を通して、各教科の内容の理解度に関する項目(参考指標)の向上を図る 【右枠参照】

### 参考指標

[R5熊本県学力・学習状況調査及びR6全国学力・学習状況調査において検証]

【参考指標1】児童生徒質問紙  
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

【参考指標2】児童生徒質問紙  
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。






【参考指標3】児童生徒質問紙  
授業の内容はよく分かりますか。(各教科において)

各教科の平均正答率

状況の向上を目指す

### 【課題の改善に向けた今後のスケジュール(例)】

★各学校で、必ず取り組むもの(時期は各学校で設定)

| 8月   | 9月   | 10月 | 11月 | 12月  | 1月   | 2月  | 3月 | 4月  |
|--|--|-----|-----|--|--|---|----|---|
| <b>結果分析と取組の共有</b><br>→校内研修に位置付け(県教委HP掲載資料「校内研修シート」の活用等)<br> | <b>課題改善・指標達成に向けた実践</b><br>★ <b>課題改善重点期間</b><br>→重点取組(上記)の確実な実践<br>◎(継続して)課題である問題の克服<br>◎定着確認の徹底<br>→授業での確実な実践<br> |     |     | <b>県学調実施</b><br>※参考指標における状況の向上<br>→実施後、課題の見られる問題については即座に対応 | <b>結果分析と指標達成に向けた重点取組の改善</b><br>→同一集団の「伸び」や指標の達成状況の確認、結果分析を踏まえた重点取組の改善と確実な実践<br> | ★ <b>課題改善重点期間</b><br>→重点取組の確実な実践(フォローアッププリントの活用、R3・4全学調の課題改善状況の確認)<br>→児童生徒自らの課題分析、課題克服のための取組の推進<br> |    | <b>全学調実施</b><br>※参考指標における状況の向上<br> |

## 本校の重点取組

目標：本校の子供たち誰一人取り残すことなく、最大限に学びを保障する

（活用シート）

課題改善重点期間（ 月 日 ~ 月 日 ）

### 〔取組の検証〕



#### ●児童生徒を「学びの主体」とするための指導の充実

##### ①授業における主体的な学びを促す学習活動の充実

- 単元全体を見通して、「自分で考える」「自分の考えを工夫して発表する」「自分の学びを振り返る」等の自ら取り組む学習場面の確実な設定すること
- 授業において、児童生徒が自分の学びを自覚したり、実感できたりするよう、児童生徒の学びの成果を具体的に伝えること

**P D** < 具体的取組(いつ・何を・どのように把握) >

##### ②家庭学習における主体的な学びの充実

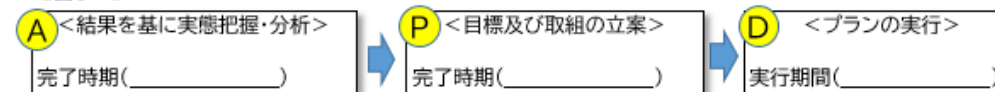
- 計画的に家庭学習に取り組むことができるよう、学習内容・方法について教師が具体例を挙げながら、児童生徒が自分で選択したり、判断したりして決めるなどの指導を丁寧に行うこと
- 家庭学習においても、児童生徒が自分の学びを自覚したり、実感できたりするよう、児童生徒の学びの成果を具体的に伝えること

**P D** < 具体的取組(いつ・何を・どのように把握) >

#### ●各教科における課題の克服と理解度の向上

##### ①課題である問題の確認とその克服

- (継続して)課題である問題の解答状況を把握し、本課が提供する「授業改善のポイント」、「類似問題」等を参考に、その克服を図ること



##### ②定着確認の徹底

- 各教科において、単元(授業)ごとに最低限習得すべき事項が身に付いているか確認すること
- 児童生徒が分かる喜びを実感できるように、粘り強く指導すること

**P D** < 具体的取組(いつ・何を・どのように把握) >

**C** 【参考指標1】 児童生徒質問紙 学校:肯定値(全国差)  
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

県・小学校:75.6%(全国差-3.2)、中学校:72.7%(全国差-6.5)

学校の現状 R5全学調結果 ( )

R4県学調結果( ) → R5県学調目標値( )

R5県学調結果( ) ※前年度からの「伸び」( )

【参考指標2】 児童生徒質問紙 学校:肯定値(全国差)

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

県・小学校:68.5%(全国差-2.2)、中学校:51.3%(全国差-3.7)

学校の現状 R5全学調結果 ( )

R4県学調結果( ) → R5県学調目標値( )

R5県学調結果( ) ※前年度からの「伸び」( )

【参考指標3】 児童生徒質問紙 教科:肯定値(全国差)

授業の内容はよく分かりますか。(各教科において)

県・小学校:国語:86.6%(+0.9)、算数80.5%(-0.7)

県・中学校:国語:75.9%(-4.1)、数学66.7%(-6.6)、英語56.8%(-7.1)

学校の現状:

R5全学調(国 ( ),(算・数 ( ),(英 ( ))

R4県学調結果 (国 ( ),(算・数 ( ),(英 ( ))

R5県学調目標値(国 ( ),(算・数 ( ),(英 ( ))

R5県学調結果 (国 ( ),(算・数 ( ),(英 ( ))

※前年度からの「伸び」(国 ( ),(算・数 ( ),(英 ( ))

**C** 各教科の平均正答率  
→前年度(R4県学調)からの「伸び」

状況の向上を目指す

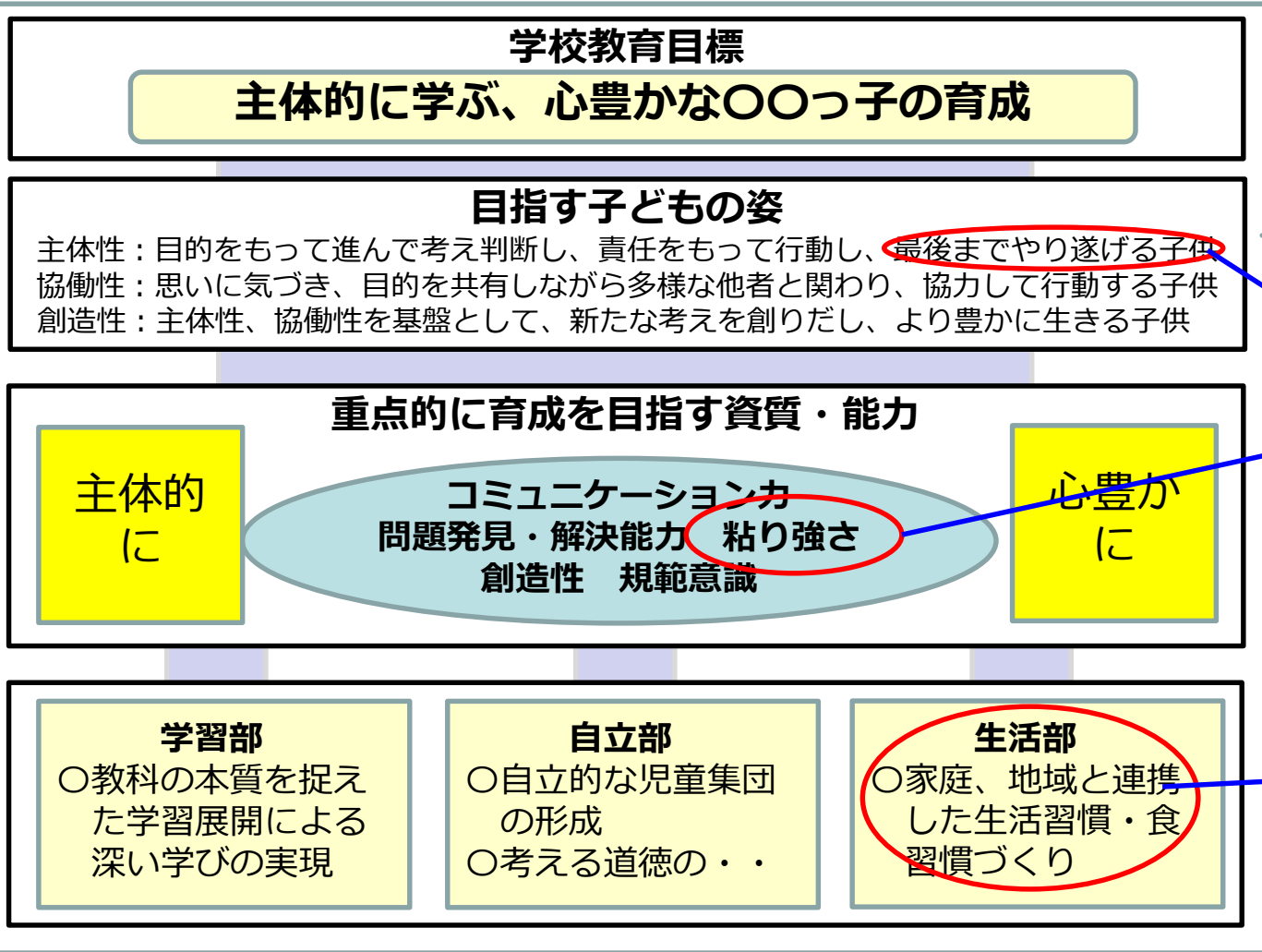


# 1 - (2) 分析の流れ①「質問項目の洗い出し」

① 学校教育目標、育成を目指す資質・能力につながる質問項目を洗い出しましょう。

※学級経営、校内研修等でも考えられます。

グランドデザインの一例（一部分を抽出）



グランドデザインや経営案等を踏まえ、質問項目を洗い出す。

(例) 児童生徒質問紙の問10「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」について、回答割合や経年変化を見ていく。

(例) 学校質問紙の問75の回答割合から、コミュニティ・スクールの取組状況を分析していく。

# 1 - (2) 分析の流れ①「質問項目の洗い出し」

## 【児童生徒質問紙及び学校質問紙の主な項目】

児童生徒質問紙対応表

|                                      | 質問番号                    | 調査年度   | クロス分析    |
|--------------------------------------|-------------------------|--------|----------|
| 1 基本的な生活習慣等                          | 小学校調査 1~3               | 12, 13 | /        |
|                                      | 中学校調査 1~3               |        |          |
| 2 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福<br>感等        | 小学校調査 4~15              | 14~19  | /        |
|                                      | 中学校調査 4~15              |        |          |
| 3 学習習慣、学習環境等                         | 小学校調査 16~24             | 20~24  | 98~100   |
|                                      | 中学校調査 16~24             |        |          |
| 4 部活動                                | 小学校調査 -                 | 25, 26 | /        |
|                                      | 中学校調査 25~28             |        |          |
| 5 地域や社会に関わる活動の状況等                    | 小学校調査 25~28             | 27, 28 | /        |
|                                      | 中学校調査 29~32             |        |          |
| 6 ICTを活用した学習状況                       | 小学校調査 29~31             | 29, 30 | /        |
|                                      | 中学校調査 33~35             |        |          |
| 7 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善<br>に関する取組状況 | 小学校調査 32~38             | 31~34  | 101~103  |
|                                      | 中学校調査 36~42             |        |          |
| 8 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科<br>道徳         | 小学校調査 39~42             | 35, 36 | 104      |
|                                      | 中学校調査 43~46             |        |          |
| 9 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国<br>語)        | 小学校調査 43~50             | 37~40  | 105~107  |
|                                      | 中学校調査 47~54             |        |          |
| 10 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算<br>数・数学)    | 小学校調査 51~54             | 41, 42 | 108, 109 |
|                                      | 中学校調査 55~58             |        |          |
| 11 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英<br>語)       | 小学校調査 55~59             | 43~47  | 110~112  |
|                                      | 中学校調査 59~72             |        |          |
| 12 各教科に関する調査の解答状況                    | 小学校調査 国1、国2、算1、算2、英1、英2 | 48~51  | 113~115  |
|                                      | 中学校調査 国1、国2、算1、算2、英1、英2 |        |          |

報告書には、質問紙対応表があり、それぞれの質問がどういった項目に関する調査であるか、掲載ページとともに記載してあります。

### R5年度児童生徒質問紙の主な項目

- 1 基本的な生活習慣等
- 2 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
- 3 学習習慣、学習環境等
- 4 部活動（中学校のみ）
- 5 地域や社会に関わる活動の状況等
- 6 ICTを活用した学習状況
- 7 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- 8 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳
- 9 学習に関する興味・関心や授業の理解度等（国語）
- 10 学習に関する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）
- 11 学習に関する興味・関心や授業の理解度等（英語）
- 12 各教科に関する調査の解答状況

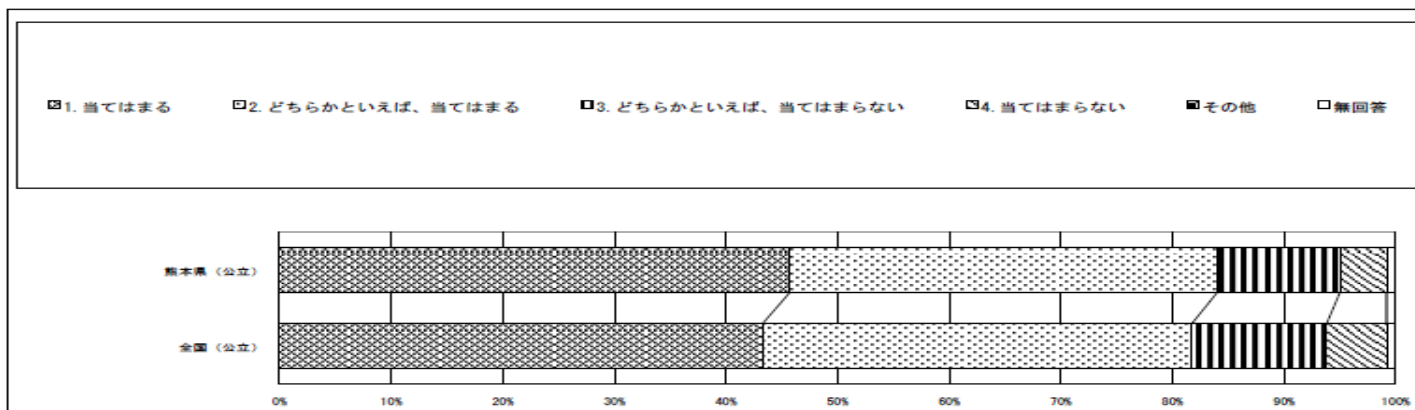
### R5年度学校質問紙の主な項目

- 1 生徒指導等
- 2 学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況
- 3 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- 4 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法
- 5 学習評価
- 6 国語科の指導方法
- 7 算数・数学科の指導方法
- 8 英語科の指導法
- 9 ICTを活用した学習状況
- 10 特別支援教育
- 11 小学校教育と中学校教育の連携
- 12 家庭や地域との連携等
- 13 家庭学習
- 14 全国学力・学習状況調査の結果の活用
- 15 新型コロナウイルス感染症の影響

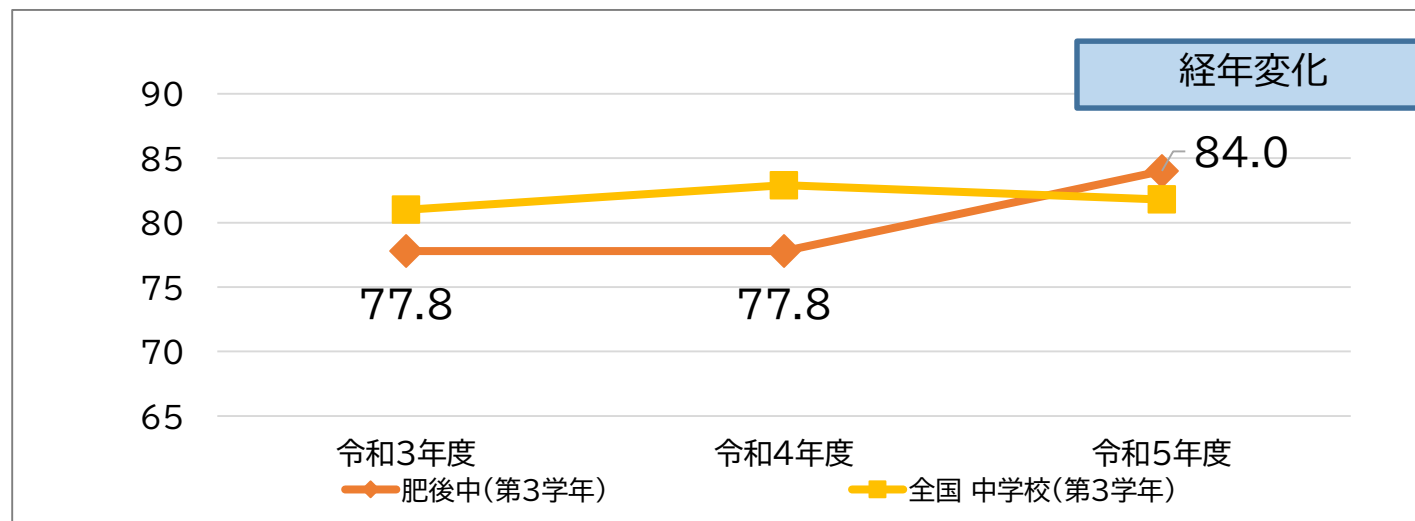
# 1 - (2) 分析の流れ②「結果の可視化」

② 洗い出した質問項目について、表やグラフで可視化しましょう。

| 質問番号    | 質問事項             |      |      |     |   |   |   |   |   |     | 回答結果集計 |  |
|---------|------------------|------|------|-----|---|---|---|---|---|-----|--------|--|
| (12)    | 学校に行くのは楽しいと思いますか |      |      |     |   |   |   |   |   |     |        |  |
| 選択肢     | 1                | 2    | 3    | 4   | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | その他 | 無回答    |  |
| 熊本県(公立) | 45.7             | 38.3 | 11.0 | 4.2 |   |   |   |   |   | 0.0 | 0.8    |  |
| 全国(公立)  | 43.3             | 38.5 | 12.1 | 5.4 |   |   |   |   |   | 0.0 | 0.8    |  |



学校に提供されている、「回答結果集計」を活用する。

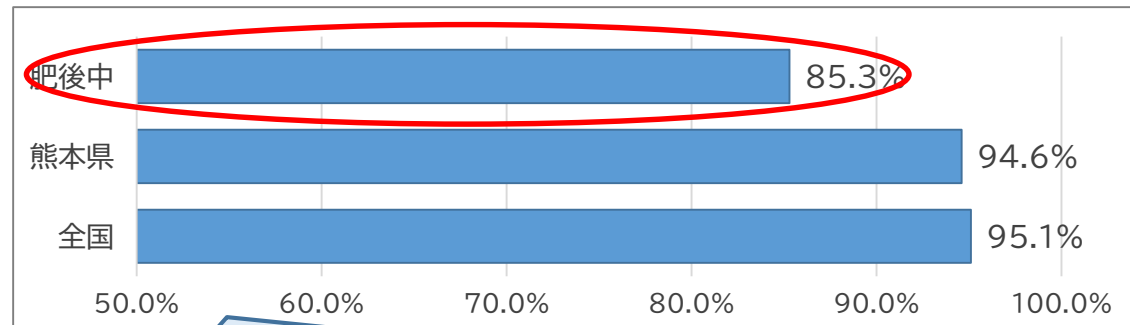


経年変化は折れ線グラフや棒グラフ等で可視化する。

# 1 - (2) 分析の流れ③「分析と取組」

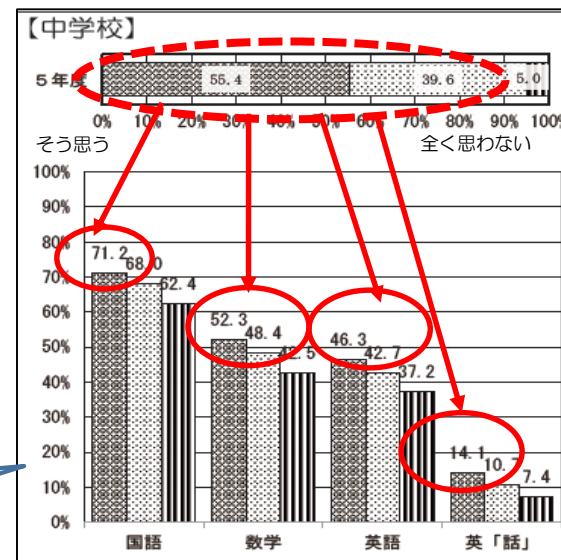
## ③ 結果を分析し、課題改善の取組を考えましょう。

(例)「学校質問紙9 調査対象年学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていますか。」の結果



**分析1:** 肯定した生徒の割合を全国値、県平均と比べると、肥後中は低い傾向にある。

**分析2:** 国のクロス分析では、肯定率が高い学校ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあることを確認する。



### 取組を考えるためのポイント

- これまでの取組を振り返り、成果や課題を洗い出す。
- 授業、行事、児童会・生徒会等での子供の様子を共有する。
- 学校教育目標の実現や育成を目指す資質・能力に向け五者連携で取り組むことを考える。
- 「熊本の学び推進プラン」、「熊本の学び」アクションプロジェクト、「熊本の学び推進プラン」取組事例集等を参考にする。

## 2 実践編 「校内研修での活用」

◇これまでの分析の流れを基に、質問紙調査の分析について、校内研修を行いましょよう。

- ① 学校教育目標(学年・学級経営、校内研修等)の実現につながる質問項目を洗い出す
- ② 洗い出した質問項目について、表やグラフで可視化する
- ③ 結果を分析し、課題改善の取組を考える

次のページからは、校内研修のシートを掲載しています。そのまま印刷して活用していただくこともできます。御活用ください。

# 校内研修シート① 「質問項目の洗い出し」

○学校教育目標、育成を目指す資質・能力等

実現に向けて、**児童生徒質問紙**から質問項目を洗い出しましょう。

実現に向けて、**学校質問紙**から質問項目を洗い出しましょう。

# 校内研修シート② 質問紙の結果分析

①質問項目

【問      】

②結果（表やグラフでの可視化）

③分析

④取組